

寄付者のみなさまからのメッセージ

ご寄付に添えられたメッセージの一部をご紹介します。

お名前の公表を希望されない方につきましては、イニシャルで掲載しております。

2024年9月

氏名（敬称略）	都道府県	日付	メッセージ
井坂 茜	東京都	2024年9月10日	<p>はじめてひめゆり平和祈念資料館を訪れたのは高校の修学旅行でした。顔写真も証言もひとつもこぼさず受け取らなければという気持ちになって夢中で読みましたが時間が足りず、また必ず来たいと思っていました。その頃からわたしはミュージカル女優になるのが夢で、次に資料館に来たのはミュージカル「ひめゆり」に出演することが決まったからでした。以降7年間で6度ひめゆり学徒隊の役を演じました。ミュージカルにはフィクションもありますが、わたしは可能な限りノンフィクションを見て聞いて学んだ上で演じたいと思い、度々資料館や荒崎海岸、病院壕跡、ガマ、他の学徒隊の慰霊碑などに足を運びました。どの場所もわたしたちに命の尊さを絶えず伝え続けてくれる場所で、守らなければならない場所だと思っています。</p>
高畠 純子	兵庫県	2024年8月30日	<p>来年で戦後80年。しかし沖縄の空には今も戦闘機が飛び交い、いまだ戦「後」ではない状況が続いています。そしていま、ウクライナやパレスチナなど、世界中で多くの人たちが命を脅かされ続けています。恐怖や不安、苦しみを抱え続けて生きてきた戦争被害者の方たちの傷をえぐるこの状況や、沖縄の地に眠る戦没者の方たちのことを思うと胸が苦しくなります。</p> <p>沖縄戦で亡くなった18万人以上の人たち一人ひとりに大切な人がいて、描く未来があったことを忘れてはいけないと思います。小さな幸せを一瞬にして奪い去る戦争。二度と同じ過ちを繰り返さない為に、戦争はどんなに残酷で悲惨なものかということ語り継がなければいけないと強く思います。その為にひめゆり平和祈念資料館始め、沖縄各地、全国各地にある戦跡や資料館の存続を強く願います。そして自分に何ができるのか？を常に問い続けていたいと思います</p>
須藤 あゆみ	東京都	2024年8月17日	<p>先日、沖縄旅行の際に訪れました。展示物の数々に大きく心を動かされました。資料はどれもとても重苦しいものばかりではありましたが、知らなければならぬ大切なことばかりであったと感じています。これからもひめゆり平和祈念資料館が永く運営されますように祈っております。時間の関係から、展示物・資料の全てに目を通すことは叶いませんでしたが、次に沖縄へ赴く際にはまた必ず訪れます。</p>

氏名（敬称略）	都道府県	日付	メッセージ
大嶋 辰男	東京都	2024年8月13日	沖縄に行くたびに見学させていただいております。たいしたことはできませんが、よろしく申し上げます。
石丸 達也	東京都	2024年7月28日	貴重な資料の保存活動ありがとうございます。
奥山 美和	シンガポール	2024年7月12日	家族で沖縄旅行をし、沖縄戦について学びました。20年前にも伺ったのですが、今回はひめゆりの方たちと同年代の子を持つ親になっていることもあり、体験談のビデオ・記録に心がつづれる思いです。これからも沖縄戦の悲惨さが忘れられることのないよう、貴重な活動を続けて下さい。
Y・T	長野県	2024年6月30日	沖縄を訪ねたいと長年思い、いまだ叶っていませんが、いつか必ず沖縄へ行き、資料館にうかがいます。
西村 まゆみ	大阪府	2024年6月23日	沖縄慰霊の日に際しまして、平和を祈る気持ちで寄り添います。
T・K	兵庫県	2024年6月23日	慰霊の日に。
H・K	大阪府	2024年6月23日	できる限り続けて下さい。応援します。
中川 喜久子	福岡県	2024年6月23日	先日NHKの番組で、学生の映像、言葉が紹介されました。どの話も心に刺さりましたが、死んでゆく友達が羨ましかった、埋めて貰えるから、という話を聞いて、死以外の未来を考えることはできなかったことがわかりました。教員をしていましたので、この資料館で考えることが多いです。
西森 裕二	東京都	2024年6月1日	先日5月28日に訪問させていただきました。今回は3泊4日の沖縄旅でしたが、南部だけの慰霊の旅でした。ガマ（壕）の見学、遺構の見学、そしていくつかの祈念資料館を見学し、それぞれに感じるもの考えさせられるものはもちろんありましたが、このひめゆり平和祈念資料館が一番記憶に残りました。特に鎮魂の空間は言葉を失うほどに衝撃を受けました。各故人のご友人達が設立された館であり彼女らの想いがダイレクトに伝わってくることで、そして壕の上に塔が建てられていること、が大きな意味を持っていると感じました。今後の末永い存続を願い、わずかばかりですが寄付させていただきます。
柴田 昌行	千葉県	2024年5月31日	貴重な経験をありがとうございました。息子を含めこれからの子供たちに達しに必ず残して頂きたいと思っております。

氏名（敬称略）	都道府県	日付	メッセージ
坂本 佳代子	大阪府	2024年5月8日	両親が戦争を経験しており、思い出したくないであろう沢山話を聞かせてくれました。世界が平和であるよう祈り続けます。
A・K	神奈川県	2024年5月7日	大変意義のある活動に賛同いたします。当時の人々の思いを後世に伝え続けてください。微力ながら応援いたします。
岩本 凌	福岡県	2024年4月12日	先人の魂に花束を。
鎌田 政博	広島県	2024年3月7日	あの笑顔の少女たちがなぜ死ななければならなかったのか・・・。米国との戦いだけでなく、自国の兵による犠牲の大きさに、戦争の残酷さが、戦争の真の問題があるように感じました。この施設が長く平和の砦とならんことを祈っています。
占部 龍弘	広島県	2024年2月26日	恒久平和を祈っております 絶え間ぬ活動に感謝申し上げます 微力ながら出来ることを行なっております
井上 和則	東京都	2024年2月13日	一人でも多くの子供たちが、ひめゆり平和祈念資料館と出会い、平和の大切さを肌で感じて欲しいと切に願います。資料館スタッフの皆様。皆様の日々の活動に感謝申し上げます。ありがとうございます！
M・N	茨城県	2024年1月31日	先日見学してとても感動しました。ひめゆり学徒1人1人に夢や人生があったのだとよくわかる展示でした。元学徒の方のお話も良かったです。（※証言映像によるお話です）
I・K	大阪府	2021年6月11日	15年ほど前に、修学旅行で伺いました。戦争についての深く強い学びをいただきました。民営で運営されていたとは知らなかったのですが、この機にぜひ応援させていただきたいと思いました。
佐治 恵子	東京都	2021年6月10日	全ての日本人が良く良く理解し、心を寄せ続けるべき沖縄。ひめゆり平和祈念資料館の存在はとても大切です。未永く存続し、情報を発信し続けてください。
高橋千晶	北海道	2021年6月6日	同じ悲劇を2度と繰り返さないために、後世に伝え続けてください。応援しています。